



市の鳥「やまどり」

平成27年度

子ども会

いせはら



市の花「ききょう」

発行：伊勢原市子ども会
育成会連絡協議会
編集：広報部会
発行日：2015年10月

子どもとつくろう地域の輪



ごあいさつ

平成27年度市子連会長を引き受けてから、早半年が経とうとしていきます。

私は、単位子ども会は勿論地区子連の活動を通して子どもたちと関わっています。子ども会は、地域（生活圏）での自分の位置を認識し、協働する大切さを体感できるこの上ない場所だと思っています。

「役員」は大変かもしれません。でも、子どもたちと一緒に考えたり遊んだりできる時間は、そう長くはないですよ。大変なことに背を向ける姿ではなく前を向いて頑張っている、そんな背中を見せたいと思いませんか？お互い「できること・使える時間」を頑張り認め合う、そんな姿を一緒に見せていきませんか。

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会

会長 安藤 政江

平成27年度役員

- 会長 安藤 政江（伊勢原地区）
- 副会長 磯部 千津子（大田地区）
吉田 幸代（高部屋地区）
- 書記 川代 純子（成瀬地区）
榎本 恵子（竹園地区）
- 会計 杉浦 亜紀子（緑台地区）
- 監事 馬場 浩二（大山地区）
八島 満雄（石田地区）
- 理事 大嵩 祐子（竹園地区）
野村 美恵（成瀬地区）
須藤 純子（緑台地区）
- 顧問 越水 真理（前副会長）

成瀬地区子連

6月13日（土）春のふれあいドッチボール大会。
297名の子どもたちが参加し、笑顔いっぱい元気いっぱい楽しむことができました。

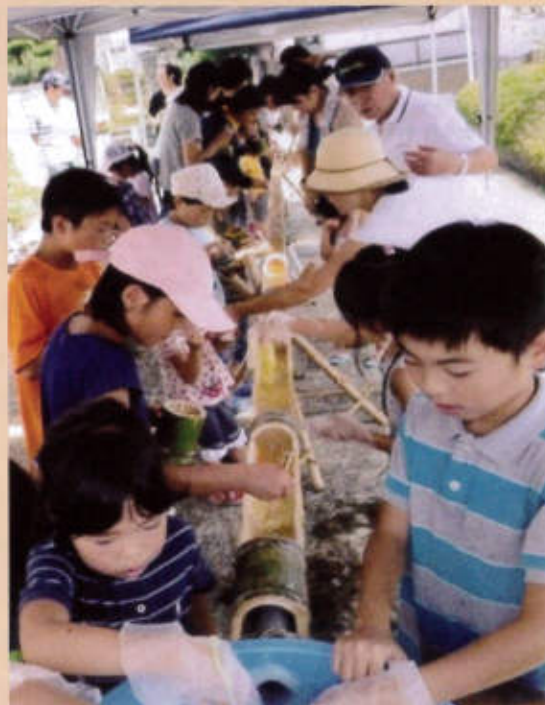


大山地区子連

7月4日に大山小学校の体育館で七夕祭りを開催しました。当日の催し物は例年6年生が企画から実施までを担当し、様々なゲームを通じて親睦を深めました。



伊勢原地区子連



千津北子ども会は加入者18名（11世帯）と少人数ではありますが、とてもアットホームでフレンドリーな子ども会です。私たちはバーベキューやクリスマス会など、年間を通じて様々な行事を行っています。その多くを地元の自治会の方々にも参加していただいているというのが、千津北子ども会の特徴です。特に夏の恒例行事となっている「流しそうめん」は、自治会の方の協力なくしては開催できません。私たち千津北子ども会は、これからも地域に根ざした子ども会として活動をしていきたいと考えています。

竹園地区子連

4月29日菅原神社のお祭りに、馬渡子ども会が参加しました。当日のために頑張っていたこの練習をし、小さい子ども汗だくになりながらおみこしを楽しみました。



7月23日馬渡子ども会の夏レクは、はまぎんこども宇宙科学館へ。宇宙飛行士にチャレンジしたり大迫力のプラネタリウムを観たりと、子どもたちは宇宙体験に大満足！



大匂子ども会の今年の夏レクは、7月24日（金）寒川セントラルボウルに。2ゲームずつ投げて、優勝は6年生女子でスコア183点！！上手 ↑

インリーダー・ジュニアリーダー合同研修キャンプ

平成27年8月8日（土）9日（日）

日向ふれあい学習センター

今年のキャンプの目的は「キャンプをとおして集団生活を行う上でのルールと災害時に役立つ技術を身につけ、リーダーとしての資質向上をはかる。」というもので、伊勢原市役所防災課による防災〇×クイズや、伊勢原消防署の指導のもと本格的な「応急救護講習」が行われました。まず、「状況を判断して周りの人に協力を求めること」

が大切なことを教えられ、「大丈夫ですか?」「救急車をお願いします」と声を出して救助を求めます。最初はなかなか大きな声が出せませんでしたが、研修を続けるうちにしっかりと大きな声で対応することができるようになりました。その後真剣な面持ちで心臓マッサージやAEDに取り組んでいました。

夕食は野外炊事場で、班に分かれての「カレー作り」なんとビーフカレーです。大量のタマネギに苦戦し涙を流しながら作ったカレー。材料は同じなのに鍋毎に微妙に味が違う!「うちのカレーが一番おいしいよ」と言いながら食べ比べをしました。食後のスイカ割りも笑顔でいっぱいでした。

伊勢原・成瀬のシニアリーダーを中心に相談役の方々に見守られながら、幾度も会議を重ねて検討して行った今回の研修会。遊びだけではなく、経験してしっかり考えて学ぶこと。誰かのために自分ができることを考え、行動する大切さを学び行動すること。キャンプをとおしてインリーダーとジュニアリーダーの大きな成長を感じました。



【豆知識】

- インリーダー：原則として子ども会に入っている小学校5・6年生。
- ジュニアリーダー：子ども会活動を始めとして、地域の活動を支援する中学生・高校生のボランティア。
- シニアリーダー：地域活動への支援及びジュニアリーダーへの指導を行っている、主に大学生以上の年齢相当のボランティア。

指導者研修会

「元気に！楽しく！子ども会活動 Part.2」



市子連では年2回、子ども会育成者向けの研修会を実施しています。

7月の研修会では、県立青少年センター指導者育成課の川手先生を講師にお迎えし、子ども会活動を元気に楽しく行うための方法を学びました。当日は59名の参加をいただき、はじめに手遊びやゲームなどを行い役員さん同士打ち解けた後は、グループワークを行いました。今までの活動の振り返りや意見交換、これからの活動に向けてのスローガン作りをし、グループで発表を行いました。どのグループも活発に話し合いが進められ、趣向を凝らした素晴らしいスローガンが完成しました。最後に、先生から危険予知のお話があり、安全に活動する上でとても参考になりました。

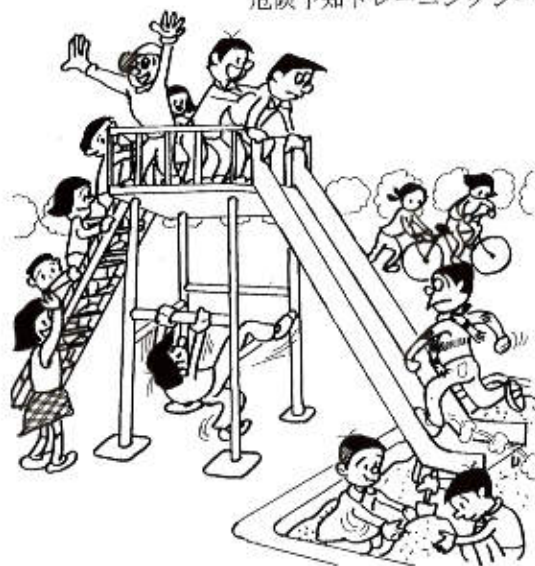
今回の研修を通じて、子ども会も地域の中での絆を大切に、楽しく快適な行事を継続して行っていくことが重要であると再認識できました。これからも市子連では、指導者に役立つ研修を実施して参ります。

KYTって何でしょう？

このイラストを見て、何か気になりませんか？

KYTとは「危険・予知・トレーニング」の略称です。このようなイラストを利用して隠れている危険な要素をグループで話し合い、どうしたら安全に活動できるかを考えて行動する訓練をすることです。子ども会活動中の悲しい事故で、1人の児童の尊い命が失われたことをきっかけに、1980年頃から子ども会で導入されました。

神奈川県子連主催のKYT研修に市子連役員も毎年参加し、指導者研修会でも継続的に取組を行っています。そして、このKYT研修会には大切なルールがあります。『人の意見を否定しないこと』そして『人の意見は最後まで聞くこと』・・・やってみると、大人と子どもの目線の違いやそれぞれの考え方の違いに気がつきます。市子連には、グループワークができるような大きいイラストが用意されています。子ども会で子どもたちと安全について考える機会を持つのはいかがでしょうか？興味があったら、各地区の市子連役員もしくは青少年課にお問い合わせください。



危険予知トレーニングシート②

【編集後記】この度の広報誌発行にあたり原稿をお寄せくださった方々はじめ、ご協力を頂きました皆様には心より感謝致しております。紙面を通じて子ども会活動をより深く身近に感じ、少しでもその楽しさを味わっていただきたいと思いながら作成して参りました。今回も市内の子ども会からたくさんの写真をお寄せいただきました。どの写真も子どもたちの笑顔が素晴らしく写真選びに苦心いたしました。ぜひお子さんと一緒にご覧ください。

子ども会への入会希望・ご質問・お問い合わせは、各単位子ども会・地区子ども会または青少年課までお問い合わせ下さい。

伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 事務局 伊勢原市子ども部青少年課（伊勢原市青少年センター内）TEL:0463-94-7171